



# まちの話題



1月6日[Sat]

## 多久聖廟で合格祈願の絵馬奉納式



▲聖廟へ絵馬の奉納、祈願に向かう関係者のみなさん

多久聖廟で合格祈願の絵馬奉納式（主催：（一社）多久市観光協会）が厳かに執り行われました。当日は「R多久駅」と「R唐津駅、市内の学校、施設などから集められた紙製の絵馬と、朋来庵・多久聖廟前の絵馬棚に寄せられた木絵馬を、釈菜の儀式にのっとり奉納、祈願しました。

参拝に訪れた育友会のみなさんは「初めて参拝に来たところ、絵馬奉納式に立ち会えました。神聖な気持ちになれていいですね。子どもたちと一緒に祈願できてよかったです」と笑顔で話されました。

奉納式は2月20日(火)に行われたほか、3月3日(日)には3回目の奉納式が行われます。



1月28日[Sun]

## 子ども議会で意見を発表



▲子ども議員と横尾俊彦市長、野北悟議長らが議長席で記念撮影しました

多久市議会本会議場で「子ども議会」（主催：多久市議会）が開かれ、市内義務教育学校から6年生6人が議員役で参加。現役議員が子どもたちのサポートに回りました。

議案は「SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会での市内全児童のボランティアスタッフとしての参加を推進する条例」について。子ども議員が現役議員の助言を受けながら自分の考えを堂々と述べ、質疑応答、採決まで、実際の議会さながらに行われました。

参加した中央校の野田龍志郎さんは「しっかり意見を言えて良かったです。将来の夢として、市議会議員にも興味がありました」と明るく話されました。



2月10日[Sat]

## 市制施行70周年特別記念事業「noh play」観衆を魅了



▲美しい現代美術と能楽の感動の舞台が披露されました

市制施行70周年を記念し、特別公演「noh play」（主催：多久市、noh play製作チーム）を中央公民館で開催しました。横尾俊彦市長は祭官の装いで「貴重なひと時を共に過ごせることに心から感謝します。多久ゆかりのシーンにもご注目ください」と挨拶。さらに雅楽の演奏と、舞台を手掛けたヤマガミユキヒロさんによる解説もあり、期待が高まったなかで上演されました。

冒頭にはヤマガミユキヒロさんが描いた多久聖廟の絵画が映し出され、雅で洗練された舞台が会場を魅了。市外からの来場者は「能楽と現代美術がマッチしていて素晴らしく、来てよかったです」と感動した様子で話されました。

